

**柏市公共下水道管路施設包括的予防保全型
維持管理業務委託**

事業者選定経過及び審査講評

平成 30 年 9 月 10 日

柏市

I 事業概要

1 事業名称

柏市公共下水道管路施設包括的予防保全型維持管理業務委託

2 事業の場所

柏市内一円

3 事業期間

契約締結から平成 34 年 9 月 30 日まで

4 事業内容

本業務は、本市が所管する下水道管路施設の維持管理に関する各種業務及び計画策定等について、受託者のノウハウや創意工夫等を促し、効率的な維持管理が実現できるよう、複数年度契約で、包括的に委託するものであり、委託者と受託者との連携作業により、管路施設運用・活用の技術力（マネジメント力）を築き上げ、下水道管路施設の機能維持・維持管理業務の効率化及びサービスレベルの向上を図ることを目的とする。これまでの「発生対応型の維持管理」から安定的かつ継続的に下水道管路施設の機能（ストック効果）が発揮できるようにするために「予防保全型の維持管理」へと転換させるものである。

II 審査方法等

1 優先交渉権者選定の方法

事業者の選定にあたっては、民間ノウハウの活用による事業の効率化や財政負担の削減を図るため、「公募プロポーザル方式」により優先交渉権者の選定を行うこととした。

2 選定委員会

市は、民間事業者の審査を専門的知見に基づいて実施するにあたって「公募プロポーザル選定委員会」を設置した。公募プロポーザル選定委員会を構成する委員は、次のとおりである。

(敬称略)

《委員長》

佐藤 弘泰 (東京大学大学院新領域創成科学研究科准教授)

《副委員長》

鬼沢 徹雄 (柏市 副市長)

《委員》

山口 直也 (青山学院大学大学院会計プロフェッション研究科准教授)

高橋 玲路 (弁護士 アンダーソン・毛利・友常法律事務所)

飯田 晃一 (柏市 企画部長)

高橋 秀明 (柏市 財政部長)

君島 昭一 (柏市 土木部長)

3 契約締結までの流れ

公告から契約締結に至るまで、以下のとおりである。

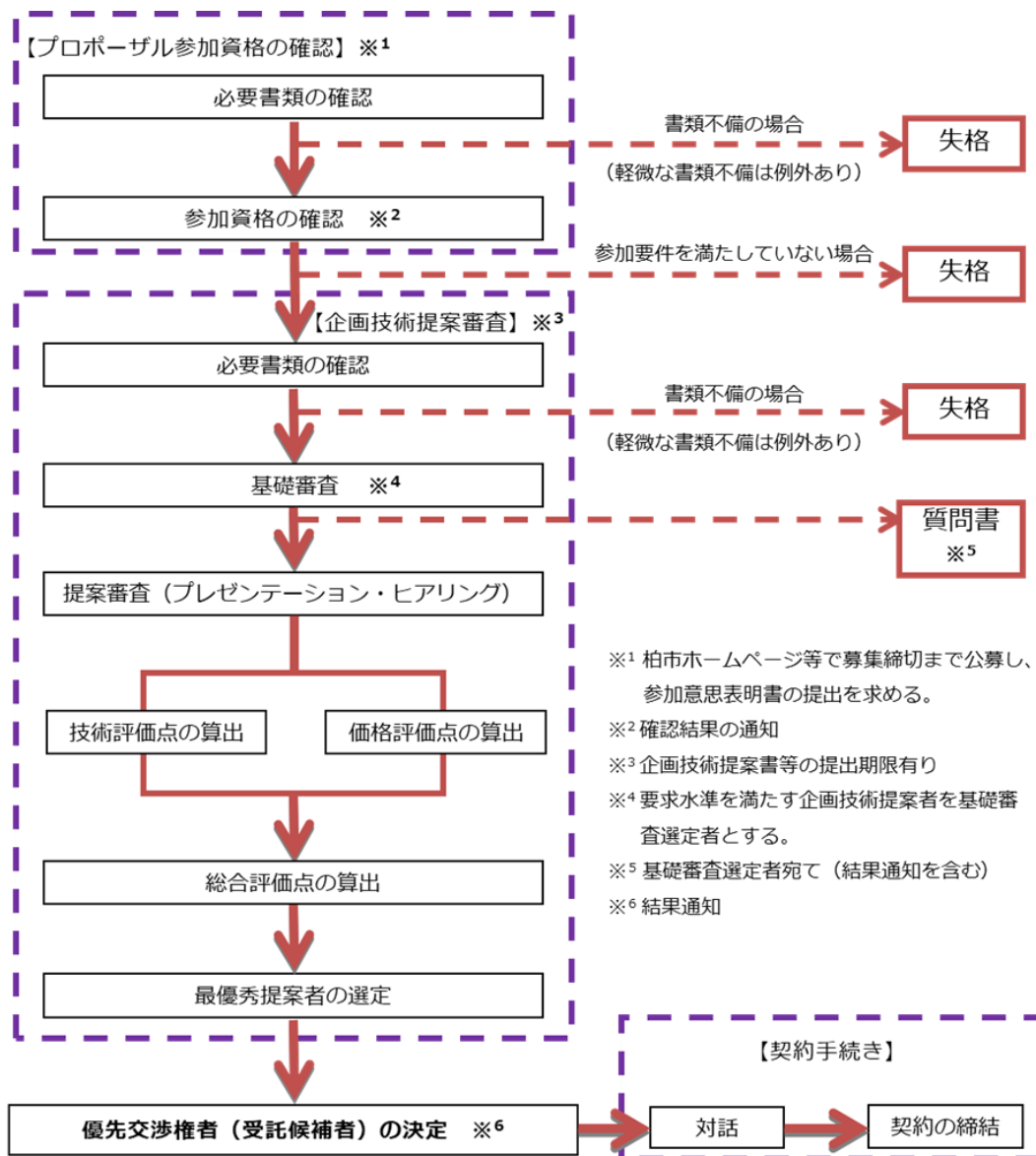


図-1 受託者決定フロー

(1) 参加資格確認

参加資格確認は、公募説明書に定めた参加資格要件に基づき、提出された参加資格確認書類に対する基礎審査により行うこととした。

(2) 優先交渉権者決定基準

①総合評価の方法

選定委員会は、総合評価点によって評価順位を決定するとともに、最も高い提案を優秀提案とし、当該提案を行った者を受託候補者としての優先交渉権者（最優秀提案者）として選定した。

また、次に高い提案を行った者を次点者とした。

総合評価点 = 各委員の総合評価点の和

企画技術提案書で求める提案内容の評価について、非価格要素に関する技術評価点と価格要素に関する価格評価点の配点は、それぞれ 800 点及び 200 点を満点とし、技術評価点と価格評価点を加算して得られる合計点を総合評価点とした。

総合評価点（1,000 点満点） = 技術評価点（800 点満点） + 価格評価点（200 点満点）

基礎審査選定者から提出された企画技術提案内容を審査し、「技術評価点」と「価格評価点」の合計によって「総合評価点」を算出し、各委員の総合評価点の和が最も高いものを、優先交渉権者とした。

②技術評価点の算出方法

(ア) 評価項目と配点

技術評価点の評価項目及び配点は次頁（表-1）のとおり。

表-1 基礎審査及び提案審査の評価項目及び評価の着眼点（判断基準）（1/3）

区分	評価項目	評価の着眼点	配点	
実績及び実施体制	本市及び業務対象地区の精通度	<ul style="list-style-type: none"> 本市及び千葉県内での作業拠点、受注実績（本市実績分を区分し記載すること。） 受注実績を踏まえた、本業務対象地区（地理・地形等）の熟知度及び下水道管路施設等の精通度 	[40]	
	実施実績	<ul style="list-style-type: none"> 同種、類似業務の受託実績があるか。 過去の受注高（契約額）の比較（過去5ヵ年度の推移） 受託業務上の技術的特長（技術力を要した事項） 	20	
	保有する技術者の状況 (技術力の根拠)	<ul style="list-style-type: none"> 専門分野の技術者の勤務状況（保有技術者及び技術力のバランス） 本業務に有益な資格の種類とそれを有する資格者の保有技術者数 	20	
業務提案内容	企画技術提案概要	<ul style="list-style-type: none"> 本業務に関する企画技術提案について、民間事業者としてノウハウ及び創意工夫等を発揮できる事項を的確に述べているか。 対象業務に関する知識及び経験が盛り込まれているか。 予防保全型維持管理（計画的維持管理業務及び計画的改築業務）及びストックマネジメント実施計画関連業務の基本的な考え方が備わっているか。 	100	
	実施体制における提案	業務実施体制 (配置人数、保有機材)	<ul style="list-style-type: none"> 本業務を実施するために必要な実施体制図と人員配置計画及び資機材等（平日、休日、夜間、緊急時の各体制）を適切かつ実務的に提案しているか。 再委託先等に関して、適切な実施体制を構築しているか。 従事する労働者の適正な労働条件・労働環境の確保について、十分配慮しているか。 実作業を担当する企業（構成員）が保有する機材・車両等を写真等で確認できるか。 	60
		業務実施体制 (地域特性を考慮した企業等の活用)	<ul style="list-style-type: none"> 構成員及び再委託先等に関して、地域の人材、地元企業、本市の下水道管路施設に精通した企業等を適切に活用した実施体制となっているか。 地元企業、本市の下水道管路施設に精通した企業等ごとに、業務配分に見合った発注予定額と再委託予定額となっているか。 	[60]
		担当予定技術者の資格・経験及び配置計画	<ul style="list-style-type: none"> 本業務に必要な有資格者の考え方とその配置計画を的確に記載しているか。 従業者の研修・教育訓練等によるスキルアップ及び異動等への対応についての考え方を述べているか。 	50
		受託実績からの提案	<ul style="list-style-type: none"> 同種、類似業務の受託実績から、本業務を実施するにあたっての創意工夫及び、他の民間事業者より優れた技術力の発揮を述べているか。 	25
		セルフモニタリング	<ul style="list-style-type: none"> 本業務のセルフモニタリングの基本計画が適切かつ実務的な内容となっているか。 セルフモニタリングの実施体制・役割分担（会議体等）、評価基準（プロセス評価等）の達成、モニタリング結果の活用方法（業務改善等）等が要求水準（企画技術提案内容が要求水準を上回っている場合は当該企画技術提案内容）を確保するために、的確かつ合理的に述べているか。 	40

[]は地域貢献に関する評価項目への配点

※技術提案評価基準における地元企業とは、計画的維持管理業務に関しては、東葛飾土木事務所管内または柏土木事務所管内に本店を有する企業を指し、計画的な改築業務に関しては柏市内に本店を有する企業を指す。

表-1 基礎審査及び提案審査の評価項目及び評価の着眼点（判断基準）（2/3）

区分	評価項目		評価の着眼点	配点	
業務提案内容	実施計画における提案	業務全般における実施計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各種業務に係る要求水準（指標等）に対する達成に向けた考え方を含めて、効率的かつ確実な実施方法を具体的に述べているか。 ・ 要求水準未達とならないための対応策、未達の場合の迅速な対応は適切かつ合理的なものになっているか。 ・ 各業務の一体的統括管理（統括管理業務）による利点を活かした有効な企画技術提案及び課題（弱点）を克服する企画技術提案（アクション目標を含む）を具体的に述べているか。 ・ 要求水準（指標等）に対して、予防保全型維持管理の観点から要求水準に達しない場合の対応策及びアクション目標の達成に向けた対応策を記述しているか。 ・ 点検調査及び緊急度判定を踏まえ、計画的改築業務に対する効率的・効果的な更生工法等の企画技術提案をしているか。 	55	
		予防保全型維持管理業務	計画的維持管理業務	<ul style="list-style-type: none"> ・ 効率的かつ効果的な巡視点検、管路内簡易カメラ点検調査、公共汚水樹点検、管路内目視調査が行われる実施計画となっているか。 ・ 現場状況に応じて、迅速かつ臨機に調査方法等の変更等の対応可能な体制になっているか。 ・ 異常箇所及び不具合箇所の早期発見に対処する実施計画となっているか。 ・ 業務上の安全管理及び労働安全衛生について、的確かつ実務的に述べているか。 ・ 本業務に関するデータベース等の管理・分析・活用（ストックマネジメントの見直し等）を述べているか。 	55
		予防保全型維持管理業務	計画的改築業務	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「柏市下水道事業中長期経営計画」を考慮した、効率的・効果的な改築業務計画の企画技術提案がなされているか。 ・ 現場状況・条件に適合した更生工法等の施工方法等の企画技術提案がなされているか。 ・ 改築業務の設計から施工まで、現場状況等及び施工規模に応じた円滑な業務継続及び業務遂行が可能となる体制等を構築する実施計画となっているか。 ・ 業務上の安全管理及び労働安全衛生について、的確かつ実務的に述べているか。 ・ 本業務に関するデータベース等の管理・分析・活用（ストックマネジメントの見直し等）を述べているか。 	95
		ストックマネジメント	実施計画関連業務	<ul style="list-style-type: none"> ・ 既ストックマネジメント計画を熟知した企画技術提案となっているか。 ・ 点検調査等の結果及び改築業務等に基づく既ストックマネジメント計画の見直し業務について、的確かつ実務的に述べているか。 	30

表-1 基礎審査及び提案審査の評価項目及び評価の着眼点（判断基準）（3/3）

区分	評価項目		評価の着眼点	配点	
業務提案内容	実施計画における提案	統括管理業務	<ul style="list-style-type: none"> ・ 統括管理業務の位置付け及び役割並びに効果等について、的確かつ実務的に述べているか。 ・ 配置予定統括責任者は受託実績を含めてマネジメント力を有する知識と経験（受託実績を含む）等を有しているか。 ・ 配置予定統括責任者が相応かつ迅速な意思決定ができる実施体制等となっているか。 ・ 本業務全体の統括的な施工管理及び工程管理について、的確かつ実務的に述べているか。 ・ セルフモニタリング（本市によるモニタリングを含む）及び業務改善並びに委託料のサービス対価の支払等の関係性（連動）について、熟知したうえで、的確かつ実務的に述べているか。 	30	
		業務計画書及び報告書作成業務	<ul style="list-style-type: none"> ・ 業務計画書及び業務報告書の書式及び記載方法について、熟知したうえで実施計画を適切かつ的確に述べているか。 ・ 業務計画書及び報告書を作成し、適時に報告できる体制（配置予定統括責任者を含む）等を構築しているか。 ・ セルフモニタリング及び業務改善に繋げるデータベース等の管理・分析・活用等を述べているか。 	15	
	その他の提案	危機管理（リスク管理）・安全対策の提案		<ul style="list-style-type: none"> ・ 異常時・緊急時に対応できる体制等を妥当かつ具体的に記載しているか。 ・ 現場及び市民等からの支援要請に係る初動対応に関する企画技術提案が、その作業を終えるまでの目標の時間（アクション目標を含む）を設定したうえで、的確かつ具体的に示されているか。 	15
		地域貢献に関する提案（社会貢献を含む）		<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元企業等との連携及び協力（本業務への参画を含む）並びに地域の人材の活用（地域住民の雇用を含む）を考慮した企画技術提案を的確かつ具体的に述べているか。 ・ 地域（地域住民を含む）との連携及び協働並びに地域活性化への取組等の企画技術提案が的確かつ具体的に示されているか。 	[50]
		企画技術提案	企画技術提案に基づく業務	<ul style="list-style-type: none"> ・ アクション目標を達成するために、効率的・効果的に対応できる体制等の企画技術提案が的確かつ実務的に示されているか。 ・ 企画技術提案内容が要求水準の達成につながるものとなっており、本市に適應した実現性、説得性を有しているか。 	30
	追加提案		<ul style="list-style-type: none"> ・ 本業務全体にわたって業務目標（要求水準）及び業務内容を達成するために、要求水準を超える追加的・補完的な企画技術提案が示されているか。 	10	
	小計			基礎審査項目（地元項目に関する項目を含む）	800

表-2 提案審査の評価項目及び評価の着眼点（判断基準）

区分	評価項目	評価の着眼点	配点
提案審査の評価対象及び評価項目（非価格要素）について、プレゼンテーション及びヒアリングの実施結果により再度審査を実施し、コスト（価格要素）も含め提案審査として全項目を評価する。			
コスト	参考見積金額の妥当性	・ 評価点＝配点×最低見積金額÷当該提案見積金額	200
合計		提案審査項目	1,000

（イ）評価点の算出方法

表-3（地域貢献を除く項目）及び表-4（地域貢献に関する項目）に示す評価点の得点化方法は、5段階評価により、審査項目別に得点を算出し、その合計を評価点とする。なお、審査項目別の得点は、小数点以下第2位を四捨五入して小数点以下第1位まで求める。

表-3 地域貢献を除く項目に関する評価点の得点化方法

評価	評価基準	得点化方法
A	当該審査項目について、特に優れた技術力を有していると考えられる。	配点×1
B	当該審査項目について、A評価とC評価の概ね中間の技術力を有していると考えられる。	配点×3/4
C	当該審査項目について、優れた技術力を有していると考えられる。	配点×2/4
D	当該審査項目について、C評価とE評価の概ね中間の技術力を有していると考えられる。	配点×1/4
E	当該審査項目について、要求水準を充足する程度の技術力を有していると考えられる。	配点×0

表-4 地域貢献に関する項目の評価点の得点化方法

評価	評価基準	得点化方法
A	当該審査項目について、地域の経済的資源を十分に活用した企画技術提案と考えられる。	配点×1
B	当該審査項目について、A評価とC評価の概ね中間の企画技術提案と考えられる。	配点×3/4
C	当該審査項目について、地域の経済的資源を活用した企画技術提案と考えられる。	配点×2/4
D	当該審査項目について、C評価とE評価の概ね中間の企画技術提案と考えられる。	配点×1/4
E	当該審査項目について、地域の経済的資源を十分には活用していない企画技術提案と考えられる。	配点×0

③価格評価点の算出方法

基礎審査選定者の見積金額について、以下の算式に基づいて価格評価点を算出する。

点数は、小数点以下第2位を四捨五入した値とする。

$$\text{価格評価点} = \text{配点 (200点)} \times (\text{最低価格} \div \text{当該参加者の見積価格})$$

(算出例) (配点: 200点の場合)

Aグループ: 見積額 180,000,000円

$$\begin{aligned} & 200 \text{点} \times (150,000,000 \text{円} \div 180,000,000 \text{円}) \\ & = 166.7 \text{点} \end{aligned}$$

Bグループ: 見積額 210,000,000円

$$\begin{aligned} & 200 \text{点} \times (150,000,000 \text{円} \div 210,000,000 \text{円}) \\ & = 142.9 \text{点} \end{aligned}$$

Cグループ: 見積額 150,000,000円 (最低価格)

$$\begin{aligned} & 200 \text{点} \times (150,000,000 \text{円} \div 150,000,000 \text{円}) \\ & = 200 \text{点} \end{aligned}$$

Ⅲ 優先交渉権者の経過及び結果

1 参加資格確認

平成 30 年 4 月 10 日に公告を行い、平成 30 年 5 月 28 日までに、表-5 に示す 2 グループから参加資格確認書類の提出があった。なお、代表 A 社共同企業体及びその構成員の企業名は非公開とする。

表-5 参加資格確認書類の提出があったグループ一覧

共同企業体名	代表企業	構成員
代表 A 社共同企業体	A 社	B 社 C 社 D 社 E 社 F 社 G 社 H 社
柏市公共下水道管路施設包括的予防保全型維持管理業務共同企業体	積水化学工業(株) 環境・ライフカンパニー 東日本支店	柏管更生有限責任事業組合 松戸環境整備事業協同組合 管清工業(株) (株)東京設計事務所 パシフィックコンサルタンツ(株) (株)奥村組 (株)清流メンテナンス

参加資格確認の結果、表-5 のグループについては参加資格を満たしていることを確認したため、平成 30 年 6 月 1 日に参加資格確認結果の通知を行った。

2 基礎審査

平成 30 年 6 月 4 日から平成 30 年 7 月 6 日までの企画技術提案書類の受付期間に、上記 2 グループから企画技術提案書類の提出があった。

平成 30 年 8 月 8 日に、柏市プロポーザル方式選定委員会を開催し、上記 2 グループから提出のあった企画技術提案について基礎審査を行った。表-1 の基礎審査項目について、表-3、表-4 の評価基準に従い評価をした結果、いずれの提案も要求水準を充足する提案であ

ると判断し、上記2グループを基礎審査選定者とした。

また、基礎審査選定者に対して、企画技術提案内容について提案審査の当日に確認を要する事項を取りまとめた「質問書」を、基礎審査結果の通知と合わせて、平成30年8月15日に基礎審査選定者宛てに送付した。

3 提案審査

(1) 技術評価点の算出

平成30年8月30日に、柏市プロポーザル方式選定委員会を開催し、基礎審査選定者から提出された企画技術提案内容について審査した。

審査方法は、企画技術提案内容について基礎審査選定者がパワーポイントを用いて20分発表し、その後、8月15日に送付した「質問書」を中心に40分間の質疑応答を行った。その後、表-1及び表-2の評価項目、表-3及び表-4の評価基準に沿って各委員が採点を行った。結果を表-6に示す。

表-6 技術評価点

共同企業体名	代表 A 社共同企業体	柏市公共下水道管路施設包括的予防保全型維持管理業務共同企業体
各委員の技術評価点の和	3,705.3 点	4,454.5 点

(2) 価格評価点の算出

企画技術提案書に添付されている見積金額を基に、表-7に示すように価格評価点の算出を行った。

表-7 提案価格（税込）及び価格評価点

共同企業体名	代表 A 社共同企業体	柏市公共下水道管路施設包括的予防保全型維持管理業務共同企業体
見積金額	3,327,891,900 円	3,337,575,958 円
価格評価点	200.0 点	199.4 点
各委員の価格評価点の和	1,400.0 点	1,395.8 点

(3) 総合評価点の算出

各委員の総合評価点を合計した総合評価点を算出した結果、柏市公共下水道管路施設包括的予防保全型維持管理業務共同企業体が最も高い総合評価点となった。各基礎審査選定

者の総合評価点は以下（表-8）のとおりである。

表-8 総合評価点（各委員の総合評価点の和）

共同企業体名	代表 A 社共同企業体	柏市公共下水道管路施設包括的予防保全型維持管理業務共同企業体
価格評価点	1,400.0 点	1,395.8 点
技術評価点	3,705.3 点	4,454.5 点
総合評価点	5,105.3 点	5,850.3 点

（4）優先交渉権者の決定

以上の審査結果より、柏市公共下水道管路施設包括的予防保全型維持管理業務共同企業体を優先交渉権者として決定した。

（5）審査講評

公募プロポーザル選定委員会による審査講評は別添のとおりである。

柏市公共下水道管路施設包括的予防保全型維持管理業務委託

公募プロポーザル選定委員会 審査講評

総評

柏市の下水道管路施設は、1960年代から本格的な整備が開始され、標準耐用年数である50年を超過した管渠が年々増加しております。この増加に伴い、下水道管路施設に起因する道路陥没や管路閉塞等のリスク事象も増加傾向にあることから、柏市としては予防保全型維持管理の実現を目指して、大規模な改築業務を盛り込んだ包括的民間委託を実施するに至りました。

今回の公募プロポーザルでは予防保全型維持管理を実現するために、柏市の地域特性や実情を踏まえた上で民間ノウハウを十分発揮した提案であるか、また、地元企業や地域人材を活用した地元貢献に資する提案内容であるかの、主に二つの側面から評価を致しました。

代表A社共同企業体からは、柏市の地域特性を十分踏まえ、柏市が現状抱えている課題を解決するための具体的な方策や維持管理データを活用するための先進技術をご提案いただき、柏市が喫緊に対応しなければならないことについて明確にお示しいただきました。また、地域企業の活用に関しても、地元企業を改築業務へ積極的に関与させ、管更生工事に関する技術継承を推進するための実施体制のご提案を頂きました。

柏市公共下水道管路施設包括的予防保全型維持管理業務共同企業体からは、地元企業を軸とした新たな予防保全型維持管理への転換による「柏モデル」の構築を目標に4つの基本方針を掲げ、これらの基本方針を実現するうえで取り組むべき事項、創意工夫を発揮できる事項を整理し、PDCAサイクルとして見事に構築されたご提案いただきました。地元企業等の活用においては、多くの地元企業からなる管更生組合を設立し事業へ参画させるとともに、マネジメント業務に関するノウハウを伝授することにより、地元企業を中心とした維持管理体制の構築に大きく貢献するご提案となっております。

いずれの共同企業体も優れたマネジメント能力及び専門的技術力を有し、柏市が目指す予防保全型維持管理を実現するとともに、柏市民に安全と安心をもたらすことができる提案であったと認識しております。しかしながら、柏市公共下水道管路施設包括的予防保全型維持管理業務共同企業体のご提案の方が、蓄積したデータの活用や地元企業の活用・育成、セルフモニタリングの実施体制など、複数の項目で優れておりました。

今回、優先交渉権者として選定された柏市公共下水道管路施設包括的予防保全型維持管理業務共同企業体において、契約が成立した暁には、セルフモニタリングや事業の進捗状

況についての報告等、ご提案いただいた内容に従って業務を実施し柏市と緊密な関係を構築していただきたく存じます。また、提案内容に変更が生じる場合は、常にコスト縮減を念頭においてご提案いただければ幸いです。

下水道管路施設の包括的民間委託において、大規模な改築業務を取り入れるのは全国初であり、全国の下水道関係者が注目する事例となっておりますので、是非とも成功していただき、全国へ波及するモデルケースとなっていいただければと存じます。